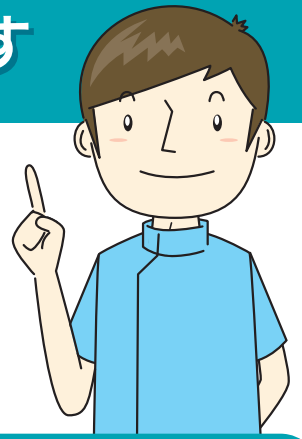


なるべく歯を削らない治療を心がけています



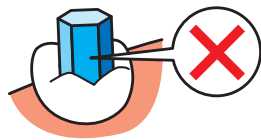
近年、進行が遅い・止まったムシ歯は、そのままで長期に渡って良好な状態が保てることわかってきました。そのため当院では、経過観察の期間を設けて、患者さんの歯をなるべく削らない治療方針を第一に考えています。

経過観察の期間

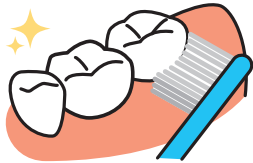
歯の状態にもよりますが、**基本的には3~4ヶ月です。**
歯科医師の判断で期間が短くなったり、長くなったりします。

経過観察の間は、ムシ歯の進行を遅くする、または、進行を止める必要があります。そのためには、以下の条件が必要です。

1 不適合な人工物が入っていない



2 適切なブラッシングができて、清潔な口腔状態が保てる



3 適切な間隔でメンテナンスに来院できる



学校や企業、市の健診で「ムシ歯」と診断された場合でも、当院で経過観察となることがあります。

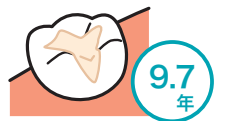
歯の修復物には寿命があるため、安易に歯を削って詰めると、再治療の確率が高まります。

修復物の平均寿命

メタルインレー



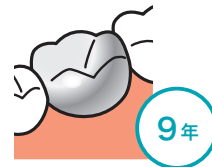
コンポジットレジン



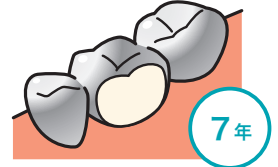
4/5冠



メタルクラウン



メタルブリッジ

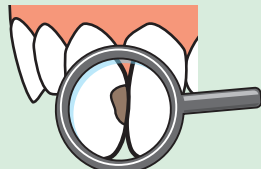


口腔衛生会誌「白歯部修復物の生存期間に関連する要因」より

歯を削らずに経過を見守ることも治療です。

ムシ歯（永久歯）を削って詰める場合は、以下の状態に該当する方になります。

1 歯面が乾燥した状態で、肉眼あるいは拡大鏡で龋窩（ムシ歯による実質的な穴）を認める



2 冷たいものがしみたり、食べ物がひっかかったりするなどの自覚症状がある



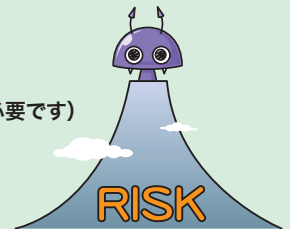
3 見た目（前歯など）が悪い



4 レントゲン写真で、ムシ歯の病変がエナメル質を超え、さらに象牙質の1/3を超えている



5 ムシ歯リスクが高い（場合によってはムシ歯リスク検査が必要です）



※日本歯科保存学会の最新ガイドラインにもとづき作成

心配なことがありましたら、スタッフまでお気軽にご相談ください。